

## 謝 辞

本論文は、筆者が運輸省（平成13年1月6日より国土交通省に組織替え）港湾技術研究所において、コンテナクレーンの耐震性に関する研究プロジェクトチームに参画した平成9年10月から平成12年8月までの2年10ヶ月間に実施した研究成果を取りまとめたものである。

本論文を取りまとめるに当たっては、学位論文の主査をお引き受けいただいた筑波大学機能工学系西岡 隆教授から全般に渡って懇切丁寧なるご指導、ご助言を賜った。また、論文審査を通じて筑波大学機能工学系井上 哲郎教授、鈴木 弘之教授、渡部 修教授及び松島 豊教授から論文の内容について、詳細且つ適切なるご指導、ご助言を頂いた。ここに衷心より深甚なる感謝の意を表する次第である。また修士課程以来何かとお世話いただき、学位論文の執筆を始めるに当たり、適切なるご助言を賜った東京理科大学理工学部松本 嘉司教授に心から御礼申し上げる次第である。

平成9年10月に港湾技術研究所の機械作業システム研究室に着任し、以来本研究を継続してきた間に、運輸省港湾技術研究所、(社)港湾荷役機械化協会、(財)東京港埠頭公社、(財)横浜港埠頭公社、石川島播磨重工業株式会社技術研究所、三菱重工業株式会社広島研究所及び日本鋼管株式会社基盤技術研究所の関係者の皆様から広範なご支援、ご協力を頂戴した。特に模型実験や解析の実施については、元港湾技術研究所機械作業システム研究室江頭 隆喜研究員、同構造振動研究室中山 義紀研修生、石川島播磨重工業技術研究所柏崎 昭宏課長のご支援・ご協力によるところが大きく、また、本論文の作成中に暖かい励ましと応援を頂いた福手 勤、河内 隆秀の港湾技術研究所の両計画設計基準部長、並びに山本 修司設計基準研究室長を始めとする計画設計基準部の皆様に深く感謝する次第である。

最後に、いつも良き指導者かつ相談相手であり、変わらぬご指導・ご支援を頂いた港湾技術研究所構造振動研究室の菅野 高弘室長、並びに菅野室長とともに研究プロジェクトの最初から一緒に研究を行ってきた元構造振動研究室山本 俊介研修生、科学技術振興事業団田中 剛重点研究支援協力員、さらには構造部水中振動台チームの皆様の長期間に渡るご支援・ご協力に心から篤く御礼申し上げる。

平成13年 1月 田邊 俊郎